南澪会合唱団　第16回　演奏会

●2008年11月16日（日）　午後2時開演　●ドーンセンターホール

＜大阪府後援＞

南澪会合唱団　出演メンバー

T1
尾崎　納＊＊
斉藤　三朗
新　栄一郎
杉方　順二
月川　兆
福野　成雄
藤田　徹夫
古川　武士
松波　謙至

T2
今村　肇
今西　弘一
大内　一
戸田　勝
服部　栄治
丸尾　嘉重
村山　徹郎
山田　稔
渡辺　義博

B1
石井　欽三
石川　健夫
太田　一忠
片岡　正平
黒岩　勝彦
谷岡　昇
辻　秀郎
廣岡　孝一
松田　桂一郎
山内　荘作
横田　卓郎
米田　直也

B2
上木　善昌
井上　知三
大道　彰
小倉　裕
鎌木　武男
三栖　隆＊＊＊
下伊豆　哲央
宮田　潤＊
村上　勇
森田　清
安井　永
和田　昭夫

南澪会合唱団は1940年に　大阪商科大学（現　大阪市立大学）グリークラブOBと現役部員によって設立された男声合唱団で、この年に第1回演奏会を開きました。翌1941年、戦争に突入し戦後まもない頃までの活動や演奏会の記録は失われてしまいました。

活動を再開したのは1953年で、1980年に母校のグリークラブ同窓会組織の南澪会とは別に、「南澪会合唱団」を組織。その後は、市大グリークラブOBに限定することなく、一般の合唱愛好者にも参加を呼びかけ、男声合唱団として活発な活動を続けており、　ほぼ隔年に演奏会を開催しています。その他に演奏発表の機会として、＜ANCORの会＝五つの男声合唱の集い＞や　旧三商大OB交歓演奏会に参加しています。

平均年齢は60歳代後半の、まさに熟年まっ盛りの集団ですが、ジャンルにとらわれることなく、世界中のいろいろな名曲を歌っていきたいと、全員で体力・音楽力にますます磨きをかけています。

＊団長、　＊＊幹事長、　＊＊＊技術幹事長

南澪会合唱団は、一緒に歌っていただける男声を求めています。
●練習は、毎週土曜日　午後6時から約2時間半～3時間、地下鉄岸里すぐ　大フィル会館にて。
●連絡先　：　尾崎納　tel/fax 0742-47-7554　e-mail : ham38220@rio.odn.ne.jp

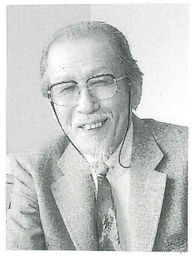
Power of Nanrei

本日の演奏会に、ようこそおいでくださいました。まことにありがとうございます。

この演奏会も、今回で第 16 回目を数えるにいたりました。これもひとえに皆様方のご支援のたまものと心から感謝しております。

今回は、女声アンサンブルの「ラ・ステッラ」が賛助出演してくださいます。すばらしい彩を添えていただけるでしょう。「ラ・ステッラ」の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

南澪会合唱団は、さらに良い音楽を創ろうと、外部の有識者・先生方を指導者に招き、合唱技術の向上だけでなく、合唱の中味に新鮮さと活力を培うべく勤め努めてまいりました。最初は、金丸七郎先生・栗田清隆先生、その次が森啓一先生、そして今は、山岸徹先生にご指導を仰いでおります。そのお陰でしょうか、練習では、合唱音楽の楽しさを追求し、かつ、音楽の内容を高めてゆく空気が横溢しております。



本日の演奏にその成果が披露できるよう、団員一同懸命に努めますが、演奏を楽しんでいただければそれに勝ることはございません。

ご来聴、ご声援に感謝し、今後なお一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

南澪会合唱団　団長　宮田　潤

南澪会合唱団演奏会 プログラム

司会　白石　公子

1. アメリカン ポップス
2. 賛助出演 La stella 女声アンサンブル小品集
3. ブラームス：ジプシーの歌 op.103
4. 山岸徹 合唱作品集

指揮者 山岸 徹 やまぎし とおる

関西をおもな拠点として作曲活動を続けている。朝日作曲賞ほか、各種の作曲コンクールで受賞。歌曲や合唱曲を中心に多数の作品がある。全日本合唱コンクールや新波の会日本歌曲コンクールの課題曲を作曲。文化庁支援事業の「日本の作曲家 2008」（東京）等にも出品。合唱指揮の分野ではハンガリーで開催された「カンテムス国際合唱指揮者セミナー」においてデーネシュ・サボー氏の指導を受け、ディプロマを取得。大阪教育大学特別教科（音楽）課程作曲専攻卒業、同大学院修士課程修了。現在、大阪キリスト教短期大学専任講師、同志社女子大学嘱託講師。また、関西合唱コンクールやNHK 学校音楽コンクール（和歌山県大会）など各地での合唱コンクールの審査員、合唱祭の選考委員等も務める。ひょうご日本歌曲の会理事。日本作曲家協議会、国際コダーイ協会、日本ハンガリー合唱交流委員会、神戸波の会会員。JASRAC 日本音楽著作権協会信託会員。

ピアニスト 石幸 千照 いしこう ちあき

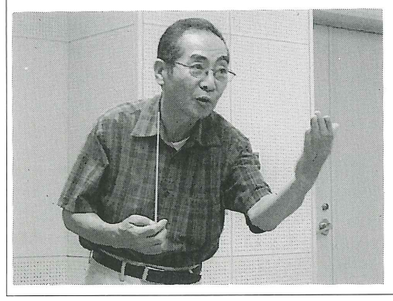
大阪芸術大学演奏学科卒業、同大学芸術専攻科修了。岡坂恭子、U・シュニー・ベルガー、平井令奈の各氏に師事。2005 年関西フィルハーモニーと協演。2006 年ロシア・サンクトペテルブルグにおいて国立アカデミーオーケストラと協演、好評を博す。　現在、関西女子短期大学非常勤講師、ヤマハ音楽教室講師。南澪会合唱団他、多数の合唱団、声楽や器楽の伴奏者としても活躍している。ファニー・メンデルスゾーン・クラブ大阪、全日本ピアノ指導者協会会員。

＜日本音楽著作権協会　包括的利用許諾契約44－0189＞

アメリカン　ポップス

指揮：山田 稔　　ピアノ：石幸 千照

Words and Music by Robert Allen
1. Sing Along
Words by Dorothy Fields,　Music by Jimmy McHugh
2. On The Sunny Side Of The Street
Lyric by Billy Hill,　Music by Peter De Rose
3. Wagon Wheels
Words by Beth Slater Whitson,　Music by Reo Friedman
4. Let Me Call You Sweetheart
Words by Al Stillman,　Music by Elmar Bernstein
5. The Great Escape March
Words by Beth Slater Whitson, Music by Reo Friedman
6. Side By Side
Words by Paul Anka, Music by J. Revaux & C. François, Arranged by Seizaburo Tanaka
7. My Way



山田　稔　やまだ みのる

大阪府立桜塚高校　音楽部指揮者を経て、大阪市立大学グリークラブ学生指揮者。昭和 43 年法学部卒業。卒業後は、豊中混声合唱団、阪急東宝グループ男声合唱団で、指揮・合唱活動。平成 18 年から　南澪会合唱団　指揮者を勤める。大中 恩、磯部 俶、高田三朗など、詩情あふれる合唱音楽を愛す。好きな言葉は「心で歌う」。尊敬する指揮者は　須賀敬一氏。家に帰れば、大切な子ども＝4 人のダックスフントが待っている。

1. アメリカン ポップス

アメリカン・ポップスのタイトルで括りましたが、アメリカでヒットし日本でも多くの人々が何度も聴いたり、歌ったことがある、スタンダード・ナンバーを集めてみました。

Sing Along みんなでうたおう：ミッチ・ミラーのためにロバート・アレンが作詞作曲、1961 年から米 NBC のテレビ番組「シング・アロング・ウイズ・ミッチ」のテーマ・ソングになり、広く親しまれた懐かしい曲です、日本でも NHK テレビで 1963 年から 1966 年にかけて放映されました。

On The Sunny Side Of The Street 明るい街角で：古くからジャズのスタンダード・ナンバーとして名高い曲で、1930 年「ルー・レスリーズ・インターナショナル・レビュー」の主題歌です。1950 年代には白人 4 人組「フォー・フレッシュメン」のモダン・ジャズ・スタイルの演奏でも大ヒットしました、いかにもアメリカ人好みの一曲です、今日は古くからのジャズ・スタイルで歌います。

Wagon Wheels：　Wagon Wheels とは綿を積んで港に運ぶ荷馬車の車輪のこと、曲はスピリチュアル系労働歌のようですが、作詞ビリー・ヒル、作曲ピーター・ローズのオリジナル・ソングです、アメリカの伝説的バリトン歌手ポール・ロブソンの歌唱でしられています。

Let Me Call You Sweetheart　恋人と呼ばせて：1910 年に誕生した名曲です、作詞ベス・スレイター・ホイットソン、作曲レオ・フリードマンのこの曲は翌年流行、オリンピック水泳競技の金メダリストから映画女優に華麗に転身した、エスター・ウイリアムズ主演 1952 年の映画「百万ドルの人魚」の主題歌となって再び流行しました、曲が生まれて 98 年今日でもよく歌われています、これぞ「ザ・スタンダード・ナンバー」です。

The Great Escape March 大脱走のマーチ：スティーブ・マックイーンが主演したユナイト映画「大脱走」の主題歌、作詞アル・ステイルマン、作曲エルマー・バーンスタインのこの主題歌はマーチ調ですが、歌詞の内容はコミカルなラヴ・ソングです。

Side By Side　：1927 年にハリー・ウッズが作詞作曲した楽天的な明るい曲です、ビング・クロスビーが未だトリオメンバーの一人として歌っていたリズム・ボーイズ盤がヒット、1953 年にケイ・スター盤がリバイバル・ヒットしました。

My Way　：「やがて私もこの世を去るだろう、ながい年月私は幸せに、この旅路を今日まで越えてきた、いつも私のやり方で（岩谷時子訳詞より）」、皆様よくご存知のこの曲、もともとはシャンソンですが、ポール・アンカが英語の歌詞をつけ、尊敬するフランク・シナトラに捧げたという逸話のある曲です、シナトラの絶唱で大ヒットしました。歌詞の内容が南澪会合唱団員の体験とオーバーラップするのですが、練習を始めて、シナトラの歌唱力の凄さを痛感しています、特に合唱で歌うにはとても難しい曲ですが、われわれメンバーの人生経験を少しでも生かせればとチャレンジしました。

（米田直也）

女声アンサンブル：La　stella

1. 紀の国のこどもうた　作曲　松下 耕
   ＊よっつのおじゃみ歌　＊チーンワーン　＊なわとびあそび
2. Tenma no Ichi／天満の市　（大阪の子守唄）　編曲・指揮；山岸 徹
3. 『Salve Regina』　作曲 Miklós Kocsár
4. Alleluia　作曲 Javier Busto

La stella（ラ・ステッラ）

「ヴォーカルアンサンブルを楽しもう」と友人同士が集まり、2002年に結成。La stellaはイタリア語で星を意味します。2005年から「大阪ヴォーカル・アンサンブルコンテスト」に出場し、金賞、銀賞を受賞しました。2006年12月にはファーストコンサートを開催。福祉施設等を訪問してボランティア演奏活動もしています。山岸先生のご指導は、メンバーが同窓生というご縁で実現しました。時代やジャンルにとらわれずにレパートリーを増やして、より充実したアンサンブルを目標に練習に励んでいます。

ソ プ ラ ノ：田中由紀子　石田貴子
　　美馬ひろみ　山内紀子
メゾソプラノ：宮純子　小川令子　足立由香理
ア　ル　ト：谷口孝子　家木真美　芦田宏子
　　北出幸子

2. La stella 女声アンサンブル

『紀の国のこどもうた』　作曲　松下　耕

和歌山県のわらべうたを題材にして書かれました。わらべうたはこどもが遊びながら歌う、昔から伝えられ歌い継がれてきた歌で、遊び歌・数え歌・絵描き歌などに分けられます。歌詞については意味不明なものや、その地方独特の言い回しなど一律ではありませんが、懐かしいメロディーを耳にすると、遠い昔の幼い自分や当時の生活が喚起されるのではないでしょうか。松下耕さんは「我が国の合唱曲も、日本固有の音素材に立脚したものがもっと必要なのでは」との思いから、これらの作品に取り組まれたそうです。練習当初は変拍子や急激なテンポの展開についていけず、またハーモニーがきまらず、悪戦苦闘の連続でした。今日のステージでは、長い年月を経て伝承されてきたこれらの曲を大切に、そして何より楽しんで演奏できればと願っています。

『Tenma no Ichi／天満の市(大阪の子守唄)』　編曲　山岸　徹

原曲は大阪に古くから伝わる民謡。それを山岸徹が、ハンガリーのヴォーカルグループ「バンキエーリ・シンガーズ」のために編曲したもの。2004年、同グループの日本公演において大阪中央公会堂で初演された。その後発売されたCDにも収録されている。当初は混声6重唱用として書いたが、本日は女声4部合唱用に改作したヴァージョンで演奏される。(編曲者・記)
※天満の市というのは、旧淀川の天神橋と天満橋間にあった青物卸市場で、最盛期の江戸中期には「浪華第一の大市場」といわれていたそうです。

『Salve Regina』　作曲　Miklós Kocsár

ミクローシュ・コチャール(1933～)は、現代のハンガリーを代表する作曲家の一人で、バルトーク、コダーイ、バールドシュといったこの国の合唱音楽の系譜を受け継ぎながらも、より華やかでダイナミックな独自の作風を特徴としています。「サルベ・レジナ」は、カトリック教会において、聖務日課の「終課」で歌われる四つの聖母マリア賛歌の一つ。この詞に基づいて無伴奏3部合唱で書かれています。ペンタトニック(五音音階・1オクターブに5つの音が含まれる音階のこと)や変拍子を多用する起伏に富んだ構成で、最後は天上に導かれる如く感動的に歌い上げられます。

『Alleluia』　作曲　Javier Busto

ハビエル・ブスト(1949～)は、スペイン・バスク地方出身の作曲家です。彼は医学部出身で、音楽は独学で学んだというユニークな経歴の持ち主。合唱指揮者としても名を馳せ、欧州各地で開催された多くのコンクールで第一位に輝いています。 無伴奏4部合唱の「アレルヤ」は8分の6拍子と4分の3拍子が常に交錯するリズムが特徴で、軽快に明るく展開します。　（宮 純子）

ブラームス作曲　福永陽一郎編曲　　緒園涼子・吉田秀和・三浦和夫　訳詩

男声合唱とピアノのための **ジプシーの歌op.103**　指揮：今西 弘一　ピアノ：石幸 千照

1. He, Zigeuner, greife in die Saiten	おおジプシーよ
2. Hochgetürmte Rimaflut	さかまくリマの流れ
3. Wißt ihr, wann mein Kindchen	そなたの一等きれいなのは
4. Lieber Gott, du weißt	人や知る
5. Brauner Bursche führt zum Tanze	つぶらな憧の乙女
6. Röslein dreie in der Reihe	野辺には紅バラ
7. Kommt dir manchmal in den Sinn	君よしのべ
8. Horch, der Wind klagt	梢になげく風
9. Weit und breit schant niemand mich an	誰もかまってくれぬ
10. Mond verhüllt sein Angesicht	月さえかげる
11. Rote Abendwolken ziehn	夕雲あかく

今西　弘一　いまにし　ひろかず

1957 年大阪市立大学経済学部卒。現役時代、グリークラブ部長、混声合唱団初代指揮者を勤める。卒業後、ジュピターコール、グリーンエコーに入団。幹事長、団内指揮者として活躍した。退団後、職場の合唱団、地域のママさんコーラス、南澪会合唱団の指揮者を勤め、その後　六甲男声合唱団、新生ジュピターコールを経て、現在　南澪会合唱団指揮者。また、男声カルテット＜キング・フロッグス＞のセカンドテナーを担当している。

3. ブラームス：ジプシーの歌　op.103

「ジプシーの歌」は、ピアノ伴奏を持つ、ソプラノ、アルト、テノール、バスの 4 声部のためのもので、11 曲からできています。ブラームスが、ハンガリー・ジプシーの要素をとりいれた音楽を好んで書いたことは、いまさらいうまでもありません。この「ジプシーの歌」も　は「ハンガリー舞曲」と並んで、その方の代表曲といえます。

しかし「ハンガリー舞曲」がいわば編作であるのに対して、「ジプシーの歌」は、ハンガリーの民謡を 25 曲集めたものの歌詞からドイツ語訳の 11 曲を選んで、それに独創的な見地から付曲されています。「ジプシーの歌」はブラームスが書いたものの中で、最も音楽的な色彩の豊かなものに属するのではないでしょうか。各 11 曲はすべて 4 分の 2 拍子で、ジプシーの感傷や情熱を示す点で一致し、動機的・調的にも関係づけられてはいますが、それぞれ異なった技巧を駆使して、一つとして同じ色彩感覚を示していません。形式、旋律、リズム、そして和声は単純で親しみやすく、全曲がブラームスの数多い歌曲の中で、最もひろく愛好されるものの一つだと思っております。また、全 11 曲は、ハンガリー・ジプシー的な性格を強くあらわしていますが、そこには、一般的なブラームスの精神的・音楽的な性格があるのも見逃せません。

今回、私がブラームスの「ジプシーの歌」を取り上げるに至ったのは、私が昭和 30 年代に所属していた「グリーンエコー」で、今年 101 歳を迎えられた加藤直四郎先生の指揮で「ジプシーの歌」（混声版）を歌って以来、ブラームスの合唱曲に興味を持ち続け、傾倒していったいきさつがあります。

南澪会では昭和 63 年の第 7 回定期演奏会と第 8 回「アンコールの会」で松平季子先生をソリストに迎え、「ジプシーの歌」（男声版）を演奏し、また、平成 4 年の第 12 回「アンコールの会」ではブラームスのアルト独唱と男声合唱のための「アルト・ラプソディー」を、当時、関西二期会所属で現在、東京で活躍されている竹本節子先生をソリストに迎え演奏。その年の第 9 回定期演奏会では福田かおり先生をソリストに迎え、同曲を演奏しました。

このように私のブラームスの合唱曲への想いは、しばらく温存してきましたが、南澪会のメンバーもこれまでとは大幅に変わりましたので、昨年 11 月の神戸・松方ホールでの第 3 回旧三商大交歓演奏会に続き、今回も福永陽一郎氏編曲の男声再編曲版で、再度取り上げることになりました。
一般的には、ブラームスの合唱曲はとっつきにくく、難曲が多い中で、「ジプシーの歌」は、めずらしく親しみやすい曲ですので、皆様に楽しく聴いていただけると思います。

本日は、原語（ドイツ語）ではなく、合唱人にはなつかしい、緒園涼子、吉田秀和、三浦和夫各氏の日本語訳で歌います。その名訳と曲想との」融和をどこまで歌えるかを、楽しんで聞いていただければ幸いです。

（今西弘一）

山岸徹 合唱作品集

作曲・指揮：山岸 徹
ピアノ：石幸 千照
ヴァイオリン：西原百合絵、瀧明絵里子

1. Ave Maria
2. 小鹿　作詩：小林憲子
3. 星合いの夜　作詩：小林憲子
4. 子守唄　作詩：立原道造
5. あさ　作詩：谷川俊太郎

西原百合絵 にしはら ゆりえ
２歳より鈴木メソッドにてヴァイオリンを始める。大学入学後結成したジャズバンド“caje”が京都学生祭典全国学生コンテストにおいて準グランプリ獲得。また、学内コンサートにおいてソリストを務める。これまでに、高瀬乙慈、後藤維都江、稲垣琢磨の各氏に師事。大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース卒業。現在、同大学大学院芸術文化専攻音楽研究コースに在籍し、ティーチング・アシスタントとしても活動中。

瀧明絵里子 たきあき えりこ
６歳よりヴァイオリンを始める。これまでに青野雅子、中田潔子、稲垣美奈子、里野智佳子、久合田緑、稲垣琢磨の各氏に師事。兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て京都市立芸術大学音楽学部卒業。現在大阪教育大学大学院芸術文化専攻音楽研究コース２年在籍。同大学でティーチングアシスタントとしても活動している。

4. 山岸徹 合唱作品集

作曲者＆指揮者としての立場から

山岸 徹

2004年から月に2回ほどのペースで南澪会合唱団の指揮をさせていただいていますが、選曲についてはいつも悩みます。出来る限りこのグループの良さが発揮されるオリジナリティーのあるステージに仕上げたいと考えます。そんな願いを持ちながら、今回も自作曲を演奏させていただくことになりました。

もともとは歌曲や合唱曲（混声／女声）だったもので、それぞれの作曲の経緯はさまざまですが、すべて南澪会のために男声合唱に改作しました。シンプルでありながらも十分な演奏効果が表れることが大切と考えました。男声合唱のさまざまな表現を存分に味わっていただければ幸いです。

一方で、ピアノも重要な役割を担います。また、「Ave Maria」と「星合いの夜」には、二人のヴァイオリンが加わるのも聴きどころです。

1. Ave Maria:
ラテン語による典礼文にもとづいて作曲しており、女声合唱版がハルモニア社より出版されています。

2. 小鹿（作詩・小林憲子）:
2002年に開催された「新波の会日本歌曲コンクール」（東京）声楽部門の課題曲となったもの。その後も独唱曲としてしばしば演奏されています。2008年には、「星合いの夜」とともに「二つの歌曲」として日本作曲家協議会から出版されました。厳しい北の大地を訪れた旅人の目から見た自然の美しさへの感動を歌っています。

3. 星合いの夜（作詩・小林憲子）:
「星合い」とは七夕のこと。夕暮れの薄ら明かりのときから日没へ。空と海が溶け合う彼方の深い色彩。届かない対象への痛切な思いを心の中の叫び声として託した歌。

4. 子守唄（作詩・立原道造）:
詩は、立原道造（1914～1940）の「未刊詩篇」から選びました。素朴なことばの中にも生きることへの願いがこめられています。1987年に作曲し、同年、奈良文化女子短期大学音楽学科定期演奏会で初演されました。

5. あ さ（作詩・谷川俊太郎）:
2006年「大和高田市コーラスのつどい」からの委嘱で作曲し初演されました。大自然の夜明け。すべてのものが躍動へと向かうダイナミックな時間の風景。